

編 集 後 記

平成8年度のカウントダウンが始まり、南の方では、「梅」「桜」のたよりが届くころ、この業界にとって最も忙しい時期となりました。闇夜にこうこうと光る「不夜城」の主は、私どもではないでしょうか？

今回の訪問シリーズは、「秋田県立博物館」でしたが、地質を仕事している私どもにとって、地域に根ざした博物館は、身近に地質や郷土史にふれられる、良い場所ではないでしょうか。「大地」を片手に気軽に博物館巡りをするのも有効的な時間の利用法だと思います。

「今年の風邪はたちが悪い」と毎年聞かれますが、「今年の風邪は熱が高く、本当にたちが悪い」ようです。会員の皆様にあたりましては、健康に十分に注意され、釣りに、登山にとアウトドアに活躍できる春が迎えられることをお祈りいたします。

私事で恐縮ですが、今回初めて「大地」の編集に携わり、「右も左もわからず」に関係各位の方々にはご迷惑をかけ、多大なご配慮・ご協力を賜りました。この場を借りまして、皆様にお礼を申し上げたいと思います。

なお、「大地」の編集を行う広報委員会では、もっと気軽に読める「大地」を目指し、リニューアルに向けて模索中です。おもしろい企画等がありましたら広報委員会までご助言を賜れば幸いに思います。

(井戸 和彦)

協会誌『大地』発行・編集

『大地』第23号

平成9年3月28日発行

社団法人 全国地質調査業協会連合会
東北地質調査業協会
広報委員会
編集責任者 鈴木楯夫
仙台市青葉区本町3-1-17 (やまふくビル)
電 話 022-268-1033
F A X 022-221-6803

表 表 紙	庄内空港～鳥海山
裏 表 紙	唐桑町槻島～高田
題 字	長谷前理事長揮毫

